



★羅針盤

No.67

東港金属株式会社

東京都大田区京浜島2-20-4

電話 03-3790-1751

URL <http://www.tokometal.co.jp>

(見学受付)

電話03-3790-1751 又は 各営業担当

※秋晴れの季節ですが、先月の集中豪雨は未だ終わっていません。9月10日の鬼怒川決壊、11日の宮城大崎地方の氾濫に遭われた方々には心からお見舞いを申し上げます。世界中で天災が増えており、いつ自分の中に入るかの予測は不可能で、今回も想定外の集中豪雨が原因でした。天災から人災の結論は出ていないようですが、被災した方々はまだ復旧の希望が見えない状況です。そんな中での警察、消防、自衛隊、海上保安庁の救助活動は胸が熱くなりました。濁流に流れそうなお家の中から子供達を次々ヘリコプターへ引き上げた画像では、母親が、ヘリコプターから下りてきた自衛隊のお兄さんは子供が怖がらないように、「大丈夫だよ」とハイタッチし、子供を安心させて抱き抱えてくれて有難かったと話しているのが印象に残りました。

冷静な状況判断は不断の訓練の賜物と思う時、避難訓練の大切さを教えられます。また、ボランティア活動のニュースでは、黙々と泥を集めて家の中を掃除する方々が本当に大勢おられ、現代は隣人のことも把握できないと言われていますが、「向こう三軒両隣り」の助け合いを、ネットが広い地域で可能にしているのだと、心が温かくなりました。これが絆ですね。

* 東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物の処理を“いつでも”お受けいたします。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



★羅針盤

鉄スクラップ

考察) 9月は東京製鉄宇都宮工場の特級価格が、20,500円/トンでスタート。最終的には17,000円/トン。3,500円/トンも下がりました。6月の高値から36%も下がっている状況。韓国や東南アジア等主要輸出先からの引き合いが弱いのが原因と思われる。年内の上げの見込みは期待できない。その為、10月は現状よりもさらに下がるでしょう。

銅

考察) 9月はLME5,100ドル/トン台。国内銅建値700,000円/トンでスタートしたものの、最終的には5,100ドル/トンを切りました。国内銅建値も660,000円/トンまで下がりました。中国景気悪化・欧州株安から見て10月は大きな上げの見込みはないでしょう。多少の上げ下げはあるものの横ばいと思われます。

アルミ

考察) 9月はLME1,605ドル/トンでスタートし、最終的には1,560ドル/トンまで下がりました。裾物であるアルミ缶プレスや上物の価格の下がっている。10月は、欧州の自動車株が全面安でありアルミの受給悪化から見て下がると思われる。

プラスチック

考察) 原料であるレジン価格が下がり、主要輸出国である中国が無理して受けていない為、10月は更に下がるでしょう。

9月予測の自己評価

鉄スクラップ ○

アルミ ○

銅 ○

プラスチック ○

★羅針盤

廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び
災害対策基本法の一部を改正する法律案の概要

東日本大震災等近年の災害における教訓として、災害により生じた廃棄物を円滑かつ迅速に処理していくには、関係者が連携・協力した上で、平時から災害に備える必要があること、また、災害が発生した後に柔軟な対応をする為、特例的な措置が必要であることから、災害廃棄物処理に関連した、廃棄物の処理及び清掃に関する法律と災害対策基本法の一部が改正され、8月6日に施行されましたので、その概要をお知らせします

【法律案の内容】

● 災害により生じた廃棄物処理について、

- * 適正な処理と再生利用を確保するとともに、
- * 円滑かつ迅速に処理すること、また、
- * これらについて、発災前から周到に備えること

との基本的考え方にに基づき、

平時の備えから通常時の対応には、廃棄物処理法の枠組みを、大規模災害時の対応には、さらに災害対策基本法の枠組みを活用し、以下の措置等が規定されました。

(1) 国、都道府県、市町村及び民間事業者は、災害により生じた廃棄物について、相互に連携・協力しつつ、適切に役割を分担して取り組む責務を有すること。

さらに国及び都道府県は、平時から、廃棄物処理の基本方針又は処理計画に基づき、災害時の備えを実施すること。

(2) 災害時においても円滑かつ迅速に廃棄物を処理すべく、災害時には廃棄物処理施設の迅速な新設又は柔軟な活用のための手続きの簡素化を行うこと。

(3) 特定の大規模災害の発生後、環境大臣は、廃棄物処理法の基本方針にのっとり、災害廃棄物処理に関する指針を策定すること。

(4) 特定の大規模災害の被災地域のうち、廃棄物処理の特例措置(既存の措置)が適用された地域から要請があり、かつ、一定の要件(※)を勘案して必要と認められる場合、環境大臣は災害廃棄物の処理を代行することができること。

※一定の要件: 処理の実施体制、専門知識・技術の必要性、広域処理の重要性

詳細は、環境省資料をご覧ください

<https://www.env.go.jp/press/100779.html>

平成27年3月24日 閣議決定時の報道発表添付資料

私のリサイクル業人生
(東港金属と共に)

第3回

当時、新入社員はそれぞれ先輩の仕事を見ながら基礎知識の勉強をしました。当社で扱う主な商品は銅とその合金である黄銅と青銅でしたので一般社会人が普段見慣れている品物ではなく、私もこのスクラップは何という元素で、なんという合金で(黄銅は銅と亜鉛の合金、青銅は、銅と錫・鉛・亜鉛の合金など)手元にある商品の種類を覚えてゆきました。選別については、色・形・柔軟性などや、磁力の有る無しで分ける。また、伸銅品は、熱を加えて少しづつ延ばして作るから切断面が細かい。鋳物は熔解して型に流して作るから切断面が粗いなど細かい知識を身に付けました。私が入社5年目にしてやっと仕事に分かってきた昭和41年に三代目となる福田勝年氏が新入社員として入社してこられました。

勝年氏(次期社長)は、まず現場仕事を理解する為、社員それぞれと一緒に選別・納品・引取業務からスタートされ、先輩の仕事をご自分なりに理解し、懸命に身に付けていかれるのを拝見しておりました。

当時私は現場でスクラップの種類別選別や配達業務をしておりだったので、納品に同行してもらったこともあります。加えて営業で新規顧客の開拓、古くからの客先にも積極的に対応されておられました。次の社長になる方でしたが、社内には古参の先輩が何人もおられたので大変やりにくかったのではないかと想像します。

勝年氏は社内の現場や営業などのほとんどの仕事を経験されて社長に就任されました。

私は、与えられた仕事は何でも嫌な事は有りませんでしたが、特に車の運転が好きでした。冬場の山路は凍っている所があるため、チェーンを履かせて走るのですが、滑り出したらブレーキは利かなくなるため、荷物を積んだトラックが滑らないようにエンジンブレーキを扱いながらゆっくり山道を上り下りしたので、結構スリルがありました。寮では、先輩は先輩の指導教育を担当することが決まっておりましたので、算盤、貫からkgへの換算なども、実際の仕切り書を使って教えて頂きました。そんな寮での生活では、やはり休日が待ち遠しく、お盆休みは海で、正月休みはスキーでと、充実した生活だったと、今でも懐かしく思い出されます。また、寮は会社につながっておりましたから、結婚して寮を出るまで、今のサラリーマンの様な通勤ラッシュを知らずに10年間の寮生活が続きました。

会社は、自社で製造・精練を行うため、昭和35年板橋区に東京製錬株式会社を設立していましたが、昭和40年代になると東京都が公害防止の観点から京浜島埋立地をものづくりの集積拠点とすることとし、工場を集団化して移転させる政策を進めましたので、それを機に東京製錬株式会社は社名を東京銅合金株式会社と変更し、昭和54年4月、私が所属する東港金属の工場と同時に京浜島に移転しました。

移転してみて、芝でも高層ビルは少なかったのですが、京浜島の広い景色に感動したのが第一印象です。

石平光夫 (執行役員専務)